

第 24 回横浜環境活動賞 受賞者概要

(敬称略・五十音順)

市民の部 (7団体・個人)

受賞内容	受賞者名	活動地域	活動概要
大賞	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園 管理運営委員会 生物多様性特別賞 同時受賞	都筑区	茅ヶ崎公園の自然環境の保全・再生のため、水質や生物調査、計画的な維持管理を行っている。また、米づくりの体験や自然観察会、自然体験のイベント、ニュースレターの発行等様々な活動を通し、自然に親しみ、学べる場を提供している。
実践賞	阿部 昭雄	緑区	地域の身近な自然の先生として、竹山小学校では、毎年の米づくりや藁を使った草履づくり等、鴨居小学校では、遠足のガイド、ドングリなどの植物をつかった工作等の支援をしている。これらの活動を通し、子どもたちに自然のすばらしさ、大切さを伝えている。
実践賞	一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会	中区 西区 南区 磯子区	17の自治会・団体・企業等が参加する組織。大岡川下流域の親水施設の管理・運営を行うとともに、地域の自治会や活動団体と連携し、清掃や親水体験イベント等を開催している。また、大岡川の環境改善を目指し、植物(ヨシ、アマモ、ワカメ等)の植え付け等に取り組んでいる。
実践賞	関ヶ谷市民の森愛護会	金沢区	関ヶ谷市民の森において、「ほたる復活クラブ」「木工クラブ」「園芸クラブ」といった様々な活動を行っている。平成 25 年度に愛護会で 5 か年計画を、27 年度に横浜市と協力して保全管理計画を策定し、目標を掲げて、森の保全管理やクラブ活動等を推進している。
実践賞	平戸永谷川水辺愛護会	港南区	104 人の会員がいる大規模な水辺愛護会として、月 1 回の除草・清掃のほか、春・秋には、地元住民、学校、企業等と協力した 700 人規模のクリーンアップを実施している。また、小学校での環境教育の実施、地域と協力したさくらまつりの開催等も行っている。
実践賞	横浜温暖化防止推進員会議	市内全域	市内の地球温暖化防止推進員が集まり、地球温暖化防止に関する情報交換、発信等を行っている。平成 26 年度からは、従来の活動に加え、地区センターを中心とした、省エネの講座や子ども向けの体験型イベント等を実施し、活動を拡大している。
実践賞	特定非営利活動法人 楽竹会	市内全域	荒廃竹林の整備として、竹林の伐採や粉碎、炭焼き、竹工芸製作を行うほか、小学校での環境学習講座、竹琴太鼓による訪問演奏会、粉碎チップを活用した実験農場における野菜栽培等を行っている。また、機関紙を毎月発行し、学校などに送付している。

(裏面あり)

企業の部（3社）

受賞内容	受賞者名	所在区	取組概要
大賞	株式会社よこはまグリーンピース	西区	市内2か所の飲食店で、使用する野菜の9割を横浜産とし、従業員が生産者の畑に出向くだけでなく、お店の利用者と生産者が直接ふれあう機会を提供している。また、店舗脇での野菜栽培や小学校等での出前講座など様々な方法で「横浜の地産地消」に取り組んでいる。
実践賞	カーボンフリーコンサルティング株式会社	中区	CO2排出量のコンサルティング業務や排出権の販売を通し、企業の持続可能なCO2削減だけでなく、環境に対する意識向上に寄与している。900社以上の実績があり、「オフセット大賞」の受賞も数多くある。また、海外で植林事業を行っており、植林本数は8年間で7万本に上る。
実践賞	株式会社東芝 ストレージ&デバイスソリューション社 大船分室	栄区	東芝グループ全体で、環境に配慮した製品開発、調達取引に取り組むほか、大船分室として、省エネや廃棄物削減に職員が積極的に取り組んでいる。特に、職場の不用品を回収し、他職場へ提供するリユース展の実施により、毎回3t以上がリユースされている。

児童・生徒・学生の部（2団体）

受賞内容	受賞者名	所在区	活動概要
大賞	フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会	泉区	学内での環境活動にとどまらず、地域と連携したイベントへの出店や清掃活動への参加、エコキャンパスを紹介するツアーの実施、企業と連携したメニュー開発や、子ども向けの普及啓発イベントを行政と連携して行うなど、様々な活動に取り組んでいる。
実践賞	横浜市立三ツ沢小学校	神奈川区	平成元年から継続して、児童が主体となり、ホテルの「愛育活動」に取り組んでいる。毎年、ホテル委員会を中心に、学校全体で繁殖、飼育、放流を行うほか、劇を通し、ホテルの生態などを伝える会や、地域の方々も参加する観賞会を開催している。